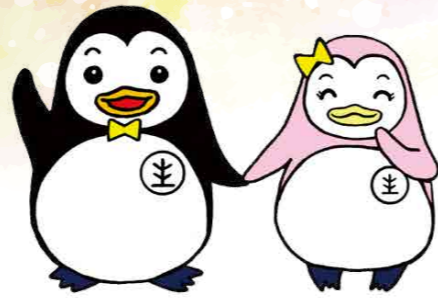


犯罪や非行のない 安全安心な社会へ ～ 立ち直りを支える地域のチカラ～

犯罪や非行のない安全安心な社会の実現は、すべての人の願いです。その実現は容易ではありませんが、少しでも犯罪や非行を減らすために大切なことの一つは、過ちを犯した人の再犯や再非行をできる限り少なくすることです。そのためには、犯罪や非行をした人々を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れ、立ち直りを支援することが重要です。そういった活動のことを「更生保護」といい、日本では、国と民間ボランティアとの協働体制のもと行われています。



ホゴちゃん サラちゃん
問地域福祉課
TEL 06-6992-1570

更生保護ボランティア

更生保護ボランティア団体には以下の団体があります。

守口地区保護司会

保護司法に基づいて法務大臣から委嘱を受けた、非常勤の国家公務員です。犯罪や非行をした人たちの立ち直し支援や、地域の人々に立ち直し支援への理解と協力を求める活動をボランティアで行っています。全国では約4万5,000人が、守口地区では52人(4月1日現在)が保護司として活動しています。

守口地区更生保護女性会

地域の犯罪予防活動や青少年の健全育成支援を行う女性ボランティアです。主な活動には、小学校での絵本の読み聞かせ、あいさつ運動があります。守口地区には65人(4月1日現在)のメンバーがいます。

守口地区協力雇用主会

犯罪や非行をした人などの自立や社会復帰に協力することを目的に、その人々を雇用する民間の事業主です。守口地区には75社の協力雇用主がいます。

保護司の活動

保護司の更生保護活動は大きく以下の2つに分けられます。

① 犯罪や非行をした人の立ち直りを助ける活動

▼ 保護観察



更生保護の中心となる活動で、犯罪や非行をした人と定期的に面談し、生活の様子を確認しながら、必要な指導や生活上の助言・支援をします。

▼ 生活環境の調整



少年院や刑務所に収容されている人が釈放後スムーズに社会復帰できるよう、帰住先や仕事の調整、引受人との話し合い、医療・福祉などの生活支援といった準備をします。

② 犯罪予防のための啓発活動

▼ 社会を明るくする運動

▼ 中学校・義務教育学校・高等学校での薬物乱用防止活動

▼ 薬物乱用防止キャンペーン



社会を明るくする運動

新たな被害者も加害者も生まない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。毎年7月を強調月間としており、昭和26年に始まって以来、今年で76回目を迎えます。

本市でも、犯罪や非行のない安全で安心して暮らせる地域社会を築くため、啓発活動を実施します。

内 更生保護女性会によるコーラス・キャンペーングッズ配布・総理大臣メッセージの伝達式・薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」アピール

時 7月10日(金) 15:45～17:00

場 イオンモール大日1階サニーコート

問 “社会を明るくする運動” 守口地区推進委員会事務局(守口市更生保護サポートセンター内)

TEL 06-7897-7036



アカルイーネちゃん



献血は命をつなぐボランティア

問地域福祉課
TEL 06-6992-1570

あなたのやさしさが、誰かの生きるにつながります。未来のために、今できることをはじめてみませんか？



けつえきのおはなし
Youtube
「けんけつちゃんからのSOS」



なぜ、献血は必要なの？

血液は人工的に造ることができず、長期保存も出来ません。

血液は人工的に造ることができず、長期保存も出来ません(赤血球は28日間、血小板は4日間)。また、献血者の健康を守るため、1人が1年間に献血できる回数や量には上限があります。

献血可能人口が減少し続ける中、若い世代の皆さんからの協力が得られなくなると、将来必要な血液量を確保できなくなる恐れがあるため、若年層への献血の呼びかけを重点的に行っています。

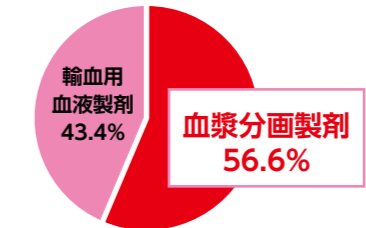
10代～30代の献血者数の推移(過去10年間)

約2割減少

集めた血液は何に使われるの？

献血の56.6%がくすりの原料として使われています。

輸血用血液の多くはがんなどの病気の治療に使われており、けがの治療で使われるのはごくわずかです。献血で集められた血液の半分以上は「血漿分画製剤」という医薬品の原料になります。



400ml献血と成分献血を勧められるのはなぜ？

輸血を受ける患者さんの安全性を、より高めるためです。

輸血は、少ない人数からの血液で行うほど、血液を介した感染症のリスクが減り、患者さんの体への負担も軽くなります。400ml献血や、一度に多くの血液成分を確保できる成分献血は、より安全な輸血につながります。



献血の条件と種類は？

献血には大きく分けて2種類あります。

採血方法	全血献血		成分献血	
	200ml	400ml	血漿成分献血	血小板成分献血
血液中のすべての成分を採血			成分採血装置を使用し、血液中の特定の成分(血小板・血漿)だけを採って、体内で回復に時間のかかる赤血球は体に戻す	
年齢	男女ともに16～69歳	男性：17～69歳 女性：18～69歳	男女ともに18～69歳	男性：18～69歳 女性：18～54歳
体重	男性：45kg以上 女性：40kg以上	男女ともに50kg以上	男性：45kg以上 女性：40kg以上	男性：45kg以上 女性：40kg以上

※65歳以上の人の献血は、献血する人の健康を考慮し、60～64歳の間に献血経験がある人に限ります。採血基準を満たしていても、献血をご遠慮いただくことがあります。

詳しくはこちら → 日本赤十字社「献血をご遠慮いただく場合」

どこでできるの？

全国各地にある献血ルームや献血バスですることができます。

府内の献血ルームや献血バスはこちら ↓



市内の献血バスはこちら →



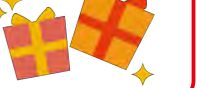
今月のスケジュールはP19を確認してください。

献血するメリットは？

献血では、自分のコレステロール値など血液成分の結果を後日確認することができます。

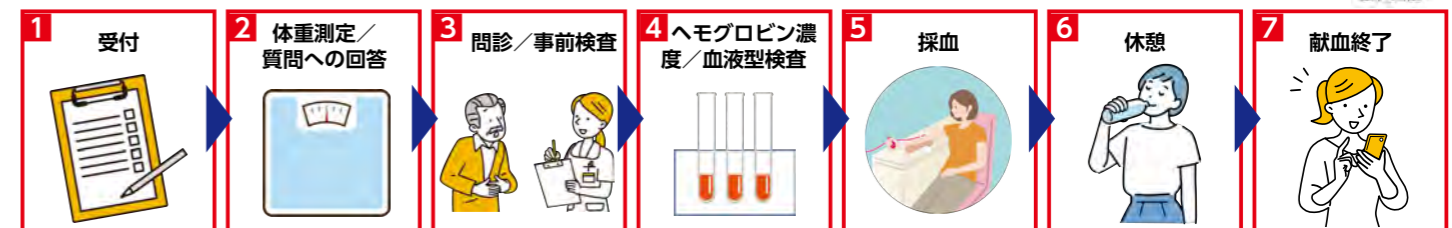
自分の健康管理、病気に気付くことができるきっかけにもなります。

また、7月と12月の市役所での献血会では、通常の歯ブラシセットに加え、記念品を進呈しています。



献血の流れ

詳しくはこちら →



献血Web会員サービス「ラブラッド」を活用してください

できること

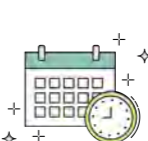


日本赤十字社では、複数回献血を推進するため、アプリ「ラブラッド」を提供しています。

献血キャラクター けんけつちゃん



予約



血液検査の結果を確認



ポイント制度



次回献血可能日のお知らせ受信



一人ひとりの協力が、尊い命を救う力になります。
あなたの一步を、心よりお待ちしております。